

地域包括ケアに関する取組み

早良区

令和6年3月末現在

〇概況

<p>【人口動態、地形、生活環境等の地域特性】 早良区は南北に長く北部（商業・文教・交通の拠点）、中部（閑静な住宅地域）、南部（自然豊かな農業・住宅地域）が異なる特性をもつ。面積は7区の中で最も広く、人口は東区、南区、博多区に次いで4番目に多くなっている。</p> <p>【高齢者の状況（高齢化率や介護保険受給者状況）】 早良区の高齢化率は年々上昇しており、7区のうち城南区に次いで2番目に高い。高齢化率は、北部の西新校区では16.6%と低く、南部の曲淵校区では50%を超えるなど、地域ごとに大きな差がある。</p> <p>【社会資源（介護サービス事業所や医療機関、地域コミュニティの状況）】 ・病院が13ヶ所（精神科病院1、地域包括ケア病棟を持つ病院5） ・社会資源、地域コミュニティともに地域の差が大きい。北部は、マンション棟集合住宅が多く住民同士の関係も希薄化しており、地域での見守り体制が取りにくい状況にある。南部は、医療機関や介護サービス事業所も少なく、交通不便地域も多い。そのため、自家用車の使用有無により受診や買い物等生活に大きな影響が出てくる。 ・早良区南部や市営住宅、UR団地等の大規模団地が多い校区では、高齢者世帯が増え地域役員の高齢化や担い手不足が大きな課題である。</p>	人口（人）	219,276
	高齢者数（人）	55,059
	高齢化率（%）	25.1
	小学校区数	25
	いきいきセンター圏域数	9

〇地域包括ケアに関する現状と課題

- 新型コロナウイルス感染症の影響で、縮小していた地域活動や医療・介護の連携やネットワーク活動が再開され、実際に顔を合わせる機会が増えている。今後も、ICTなど新たな手法を取り入れながらも、対面での活動機会を確保し、コロナ禍で中断していた関係づくりの再構築を図っていく。
- 単身高齢者や認知症高齢者、身近な支援者不在など複合課題を抱える世帯への対応が増加している。早期から地域や医療介護の専門職など様々な関係者のより一層の連携強化が望まれる。
- 高齢者が増え一部地域役員への負担が大きく担い手が不足している。地域活動に参加する人材の確保や育成が必要である。
- 介護予防の取組みに自ら参加できない方への支援について、心身機能が低下し認知症やフレイルのリスクが高まる前の働きかけが重要であり、交通問題においても保健福祉の観点からふまえた検討が必要である。
- 在宅看取りの支援は、終末期の専門的な知識や具体的なケアの提供が求められる。専門職の人材確保及び専門職が連携して支援できる体制の整備が必要である。

1. 令和6年度取組みの中で、特徴あるもの

取組内容

早良区における地域包括ケアシステム推進について

1 地域での取組を応援するメニュー：「認知症支援の推進」を強化

<p>公民館での地域包括ケア関連講座の実施</p>	<p>・地域包括ケアに関する5分野の講座を公民館や地域の専門家と連携して実施していきます。 【地域包括ケア関連講座 テーマ】 【介護】若い世代向け親子で考える介護の備え講座、知コク介護保険 【住まい】高齢者の施設・住まいについて 【医療】在宅医療でできること、かかりつけ医ありますか？、お薬の話 【生活支援】消費者被害、孤立死について考える、マイエンディングノート、終活 【保健(予防)】オーラルフレイル予防講座、知ってる？フレイル、健康寿命と食生活 その他、地域包括ケアに関する講座について開催支援します。</p>
<p>強化・拡充 認知症支援の推進</p>	<p>・認知症サポーター養成講座、認知症キッズサポーター養成講座、認知症ステップアップ講座、を通して、認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る「応援者」を増やします。 ・認知症の実情を知る映画「ほけますから、よろしく願います。～おかえりお母さん～」の上映を実施します。 ・認知症の早期発見、早期相談につながるためのリーフレットを配布し、啓発を行います。 ・世界アルツハイマーデーに合わせて、区内の図書館などの施設で啓発を推進します。 ・認知症の人へのコミュニケーション・ケア技法のひとつである「エモチュード(R)」の普及啓発、(DVDの貸出)等を行います。</p>
<p>健康寿命の延伸を目指す取組み オーラルフレイル予防事業</p>	<p>・健康を受けて病気を予防・早期発見することで、健康寿命の延伸を目指します。 ・認知症予防や生活習慣病・フレイル予防等の健康講座、生き活き講座などを実施します。 ・よかとレ実践ステーションや運動の自主グループなど、身近な場所での健康づくりや仲間づくりをお手伝いします。 ・区歯科医師会等と連携して、お口から健康づくりに取り組む実践的な講座を行い、オーラルフレイルを予防します。</p>
<p>「高齢者地域支援事業」の実施</p>	<p>・校区や町内会単位で、支え合い助け合いの仕組みづくり等について話し合い（高齢者地域支援会議）、地域の実情に応じて、できることから実施していく取組みです。 ・地域の活動団体が参加し、相互に連携することで、課題解決に向けた取組みが進めやすくなります。</p>



認知症啓発資料



歯科医師による
オーラルフレイル予防の講座

2 オーラルフレイル予防事業：区歯科医師会、大学、歯科衛生士会等と連携して事業を推進する

3 事業所ネットワークの連携推進：地域と医療・介護の専門職をつないでいく

2. 令和5年度の取組状況

(1) 地域ケア会議の状況

① 個別支援における成功事例、課題など（個別支援会議の傾向など）

・認知症の方、キーパーソン不在、障がいがある家族への支援など重複した問題を抱えている方が多く、見守り体制の構築等支援者間で協議。
 ・社会福祉協議会、区障がい者基幹相談支援センター、住居管理者、民生委員、警察など必要に応じて様々な機関に出席を依頼し、課題解決に向けて連携を図っている。

個別支援会議開催状況 ・会議回数：延62回(うち介護予防型個別支援会議25事例)

② 住民同士の助け合い・支えあい活動

○高齢者地域支援事業

田村校区の取組み

令和元年度から高齢者地域支援会議を開催し、関係者が連携して高齢者を見守る「ふれあいネットワーク活動」に重点を置いて活動してきました。この活動を継続するとともに、誰もが安心して暮らし続けられるまちづくりに向けた課題と取組みについて話し合い、田村校区福祉のまちづくりプランを作成しました。今後はこのプランに基づいて、「住んでよかった！我がまち 田村」と多くの方に感じていただけるように、みんなで協力して、できることから取組みを進めていくこととしています。



原西校区の取組み

令和元年6月に「原西よかまち会議」を立ち上げました。超高齢社会に備え、“今後さらに住み続けたいまち”、“住んでよかったまち”にしていくにはどうすればよいかを話し合い、「原西よかまちプラン」を作成しました。その直後からコロナ禍の影響を受け、思うように取組みが進められない期間が続きましたが、令和6年2月に4年ぶりに会議を開催しました。20町内それぞれの取組みの紹介や活動の工夫、困っていることなどについて、情報共有と意見交換を行いました。これからも校区一丸となってこの取組みを進めていきます。



高齢者地域支援会議
開催状況

・会議開催校区（地区）数：10校区（地区）、延べ回数：14回
 ・検討内容：高齢者の課題等について意見交換し、地域で高齢者を支えるための取組みを検討し、できることから実施する。

③ 在宅医療・介護連携や多職種連携の推進に向けた取組み



オールフレイル予防のためのリーフレット

■オールフレイル予防事業

早良区歯科医師会、福岡歯科大学、福岡県歯科衛生士会と協力して介護予防講演会実施。

■多職種連携研修会

- ・第1回：ケアの本質とはなにかーHumanitude®が伝えたいことー
- ・第2回：多職種連携における問題点(グループワーク)
- ・第3回：多様化するアルツハイマー病の治療戦略

■医療機関・薬局・居宅介護支援事業所・訪問看護ステーションを巡回

圏域連携会議
開催状況

・会議回数：8回（第1.2.3.5.7.8.9圏域）
 ・テーマ：民生委員・児童委員と圏域ケアマネの交流会、地域・介護・医療のネットワーク構築をテーマに開催

④ 区レベルの取組み（特徴ある取組み）

■早良区版地域包括ケアシステムの推進

- ・公民館を主体とした「地域包括ケア関連講座」（地域の専門職と連携して地域包括ケアの5分野に関する講座）の開催
- ・認知症啓発映画『ばけますから、よろしくお願いします。～おかえりお母さん～』を公民館で上映。参加者へ早期相談へ繋がるよう認知症関連資料一式を配布 15回520名
- ・歯科医師会、大学等と連携した「オールフレイル予防事業」：25校区中24校区で実施、リーフレット作成など

■区地域包括ケア推進プロジェクト会議 2回

・区レベルでの地域包括ケアを推進体制を構築するため、関係課9課で設置。各課における地域包括ケアに関する取組みの共有を行っている。（総務課、企画課、地域支援課、生涯学習推進課、保険年金課、福祉・介護保険課、健康課、衛生課、地域保健福祉課）

区地域包括ケア
推進会議開催状況

・区地域包括ケア推進会議 1回
 ・部会 ①在宅医療・介護部会 1回 ②権利擁護部会1回 ③生活支援・介護予防部会1回

(2) その他、在宅医療・介護連携の推進に関する取組み、事業所ネットワークの活動等

取組み	具体的内容
在宅地域リーダー会議	7回 在宅医療・介護連携の取組み支援に向けた協議（多職種リーダー研修や市民啓発講座の企画）
多職種連携研修会	3回 認知症等に関するテーマで開催。グループワークでは視点の違いを理解することができた。
在宅医療に関する市民公開講座	1回 認知症をテーマに基調講演を開催 120名参加
①ケアマネ連絡会（ケアネットさわら）	① 1回
②訪問看護ステーション連絡会	② 区単位の開催なし。
③医療ソーシャルワーカー交流会	③ 企画会2回、開催 1回
事業所ネットワークの活動	事業所ネットワーク4か所。 認知症サポーター養成講座や公民館講座等で地域との連携を深めている。また、買い物支援等地域と協働しながら社会資源を補う取組みを展開している。
弁護士と包括職員（社会福祉士）と勉強会	虐待や処遇困難の事例検討を行い、法律の視点から助言を受ける。